

地震想定マップ

液状化危険度マップ | 地域の液状化の可能性を示したものです。

「液状化危険度マップ」は、31 ページの「揺れやすさマップ」で示した震度となった場合に、水を十分に含んだ緩い砂地盤が強い地震で激しく揺すられた時に起こる地域の液状化の可能性を表したものです。液状化の可能性は、地盤の液状化の程度を表す指標により判定しています。

震源の位置や地震の規模が異なれば液状化が発生しない場合もあります。



液状化危険度	
	液状化指数 (PL 値)
極めて高い	15 < PL 値
高い	5 < PL 値 ≤ 15
ある	0 < PL 値 ≤ 5

液状化するとどうなるの？



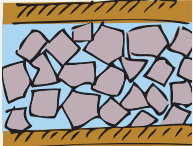
東日本大震災での液状化被害
(一財) 消防防災科学センター

地震の振動によって地盤が液状化すると、建物などが傾く、地中のガス管や水道管が壊れる、砂まじりの水が地表に噴出するなどの被害が生じます。

液状化って どんなこと？

液状化現象は、地下が砂の層であり、地下水位が高い場所で揺れが発生すると起こり得る現象です。

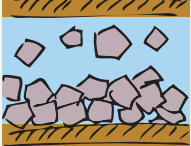
液状化現象が起こる前



地震の発生



液状化現象が起こる



液状化現象による被害



揺れによって地下水圧が大きくなり、くっつき合っていた砂粒がバラバラになる。砂粒は水の動きに合わせて動いたり流れたりして、液状化してしまう。

水の動きで、土の層が波打ったり穴が開いたり裂けてしまう。このため、地割れ、地面の波打ち、噴砂、陥没などの被害が発生する。